

2019年8月25日に  
開催致しました  
ながじゅう感謝祭  
第16回 木の香まつり

の収益金の一部を利用し、  
**言語翻訳機**

3台を寄贈致しました

協力会社の皆さまの  
お力添えにより  
寄贈することが出来ました

誠にありがとうございました



①ポケットークの実演を見学する  
松居慶浩社長と板山教育長  
②寄贈された「ポケットークS」  
長浜市役所で

地域の教育活動や発展に役立ててほしいと、長浜市大  
成亥町の建設会社「長住建設」の松居慶浩社長が23日、  
市役所に板山英信教育長を訪ね、携帯型多言語翻訳機の  
最新版「ポケットークS」3台を寄贈した。(相馬敬)

# 外国人児童らと会話 安心

## 長浜市教委に言語翻訳機3台

### ベトナム語・ネパール語対応、長住建設寄贈

同社は市教委を中心に毎年、市に対して同様の寄贈を続けている。毎年八月に開いている感謝祭「木の香まつり」の収益金の一部を充てているという。

市教委によると、市内の小中学校には、外国人や母語が外国語の児童生徒が二百八十人以上在籍している。

中国語とポルトガル語、スペイン語、タガログ語は母語支援員が意思疎通を手助けしているが、ベトナム語やネパール語などは支援員がいいため、ポケットークの寄贈を要請していた。

板山教育長は「担任の先生にとって何よりの手助けになる。有効活用することにも、活用の様子も知らせたい」と謝辞を述べた。

市教委は寄贈に合わせて、別に四台のポケットークを導入。合わせて七台のポケットークを学校現場で活用している。

2020年(令和2年)1月23日(木曜日)

## 携帯翻訳機 日本語指導に

### 長浜市教委が導入 小中学校に貸出



長浜市教委が導入した最新型の携帯翻訳機「ポケットークS」



#### 外国籍児童生徒の増加に対応

外国籍の児童・生徒が増加している長浜市で、世界74言語に対応する携帯翻訳機「ポケットーク」を導入した日本語指導が2月から始まる。

長浜市教委によると、日本語指導が必要な児童・生徒は281人で年々増加傾向にあり、長浜北小学校では児童の約1割にのぼるといふ。市教委では小中学校に外国語を話せる指導員と支援員計9人を派遣しているが、対応言語はスペイン、ポルトガル、中国、タガログ(フィリピン)の4言語に限られる。このため、教育現場では、近年増加しているベトナム語やネバ

ール語の子ども達とのコミュニケーションに苦慮しているという。

ポケットークは名刺サイズで持ち運びに便利で、使う際は日本語と英語など2つの言語を選び、一方の言語で話しかけると、ポケットークがもう一方の言語に翻訳して

読み上げる。文章を写真で撮影して翻訳する機能もある。

市教委では7台を導入し、今後、市内の小中学校から貸出申請を受け付け、2月から運用を開始する方針。市教委は「児童・生徒保護者と教員がコミュニケーションを図るための手段として活用したい」としている。



贈呈式で行われたポケットークの試用(左から板山教育長、外国人英語指導主事、松居社長)

23日には市役所で贈呈式があり、松居慶浩社長からポケットークを受け取った板山英信教育長は「通訳がない言語は対応に苦慮している。外国籍の子どもの担任にとって何よりも手助けになるグッズ。有効に活用していきたい」と話していた。

同社では毎夏開いている「木の香まつり」の収益金を活用して、教育支援に取り組んでおり、今回は市教委のリクエストに応じてポケットークをプレゼントした。

### 長住建設が3台寄贈

長浜市教委が導入したポケットーク7台のうち、3台を長住建設(大成亥町)が寄贈した。

同社では毎夏開いている「木の香まつり」の収益金を活用して、教育支援に取り組んでおり、今回は市教委のリクエストに応じてポケットークをプレゼントした。